



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hovukai.org/>

第118号

発行:2016年2月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会



## 湘南泉病院の挑戦

～地域包括システムのスタートと共に病院機能を充実します～

湘南泉病院 院長 末盛 彰一

### 1. 背景

平成28年は、かねてより厚労省が進めていた地域包括システムが、横浜市において全区でスタートする記念すべき年度となります。医療・介護一体型、CUREからCURE+CAREへの転換と評された制度の元年となるわけです。湘南泉病院は、すでに泉区・旭区・瀬谷区医師会と医師会の在宅拠点事業の後方支援病院として契約を終了しています。この横浜西部地区における地域包括システムを支える医療機関として一定の評価を得たということになりますので素直に喜ぶべきと考えております。一方、平成28年度は、同時に病院再編の幕開けでもあります。7:1急性期病床の基準条件の見直しが騒がれていますが、10:1基準の当院にとっても大きな影響があると考えています。横浜市は全国的には将来の人口減少も軽微で恵まれた医療環境と考えられがちですが、少産多死の医療業界の将来は甘くはありません。昨年末に行われた横浜市の医療調整会議は紛糾し、データ的には人口減少に影響を受けない横浜市においても交通機関が発達しており移動も容易であり、急性期病院は過剰状態であると報告されたそうです。今年、まさに、急性期病院の選択と淘汰が始まる元年でもあるのです。

### 2. 我々の挑戦

湘南泉病院は平成26年より医療設備の整備と診療力の向上に邁進してきました。具体的には、診療機器整備として3テスラMRIの導入、ソレミオシステムの最新内視鏡機器を導入しました(本年4月には、マンモグラフィー導入予定です)。また、外来診療

スペースの改装を行い好評です。診療力の向上はさらに目を見張るものがあります。消化管腹腔鏡手術では全国的に著名な聖マリアンナ医科大学横浜西部病院・副院長の國場幸均教授を招聘し、毎週火曜日に腹腔鏡手術ができる体制を整備しました(本年4月より水曜日に聖マリアンナ医科大学本院より民上真也講師においていただき上部消化管および肝胆膵疾患の外科手術が可能となります)。合わせて、麻酔科常勤医師として寺井由香子先生が着任されます(ペインクリニック外来も担当される予定です)。また、糖尿病外来を新設しました。火曜日は、糖尿病を含め代謝・内分泌疾患の全国的オピニオンリーダーの聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院・方波見卓行教授、土曜日は長年米国コロンビア大学で糖尿病を中心に研究されていた北村ゆかり先生において頂いております(糖尿病外来は本年4月より週3日に拡大します)。さらに、水曜日に脳神経外科外来を新設しており、本年4月より、土曜日も隔週で行う予定です。

### 3. 皆様へのお願い

湘南泉病院は今後も歩みを止めず、病院機能の充実を行う予定です。ただ残念なことに、地域住民どころか鵬友会内部においても湘南泉病院の現状が十分に周知されていないようです。法人の皆様にはぜひ歩く宣伝塔となり、地域住民の皆様、医療・介護関係者に湘南泉病院の診療情報を伝えていただきたいと切にお願いする次第です。よろしく申し上げます。

## 平成27年度

### 看護科長等合同研修を開催しました。

H28.1/30 (土) 湘南泉病院 会議室



池島 常務理事



片桐 看護部長

平成28年1月30日(土) 9時～17時、鵬友会各施設の看護科長が参集し、鵬友会合同看護科長等研修が行われました。

まず初めに池島常務理事の講話の中で、平成28年4月に行われる診療報酬改定について、病院を取り巻く社会情勢や動向を交えて分かり易く説明し、後半には、看護科長に求められている役割について、具体的な例を挙げながら述べました。

続く、新中川病院 片桐看護部長より、「リスクマネージャーとして、現場の危機管理について学ぶ」をテーマに、医療事故防止の管理、現場における医療安全推進の取り組み、平成27年10月より始まった医療事故調査制度についてなど、具体的に行動したことや、経過、結果を交えながら各科長の担う役割について述べました。

前半最後には、新中川病院 吉田看護科長と岸看護科長より、認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修の報告がありました。

後半のグループワークでは、各部署のリスクマネージャーの報告を基にディスカッションし、学びを深めました。



全体風景



【グループワーク】



【グループワーク】



## 節分で鬼退治

ほうゆう保育園

平成28年2月3日(水) 保育園で節分の豆まきを行いました。突然現れた鬼に、果敢に豆をまく子もいれば、恐怖で泣き喚く子も…。反応は様々ですが、1年間園で過ごした子どもたちの確かな成長を見ることができました。



邪を払い、福を呼び込んだ節分の豆まき。今年も【ほうゆう保育園】のみんなに、いいことがいっぱいありますように。

## ケガをしない転び方

ほうゆう保育園で教室

平成28年1月29日、保育園で瀬谷の道場・善道館の伊藤館長さんによる『転び方教室』がありました。最近の子どもの多くは、頭を支える首の筋肉や背筋、腕の筋力が弱く、転んだ時に顔や頭を打ってしまうことがあることから、マットに寝転び、首を上げて体幹を強くしたり、怪我をしない手のつきかたを指導していただきました。



子どもたちは楽しく体を動かしていました。